



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	持続可能な開発目標（SDGs）と札幌市の取組
Author(s)	佐竹，輝洋
Relation	北海道大学環境健康科学研究教育センター主催 WHO環境化学物質による健康障害の予防に関する研究協力センター指定3周年記念 市民講演会 「SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～」 2018年10月17日(水)開催（北海道大学百年記念会館大会議室）
Issue Date	2018-10-17
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/71697
Type	lecture
File Information	satake.pdf



2018.10.17 WHO環境化学物質による健康障害の予防に関する研究協力センター
指定三周年記念 市民講演会「SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～」

持続可能な開発目標（SDGs）と札幌市の取組

札幌市 環境局 環境都市推進部 環境計画課
調査担当係長 佐竹 輝洋



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標



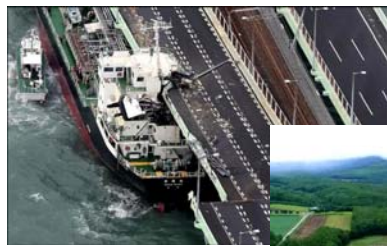
国連「持続可能な開発目標（SDGs）」について

1 Page

2015年の9月に国連で採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ (Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development)」における、17の目標と169のターゲットからなる、2030年に向けた国連加盟国193カ国共通の目標。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標





地球温暖化による
気象災害の増加



世界の
人口増加
貧富の
格差拡大

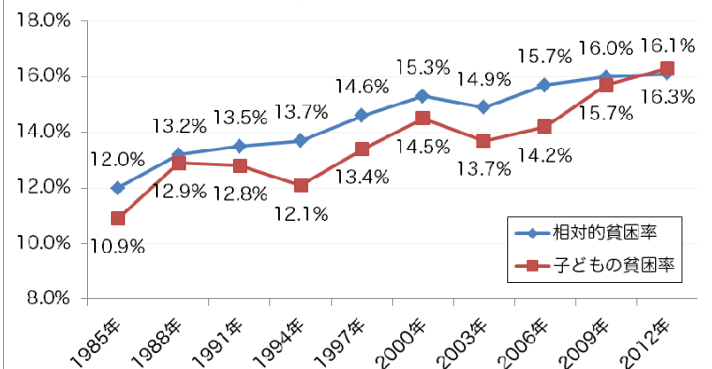


日本の貧困問題

生き物の絶滅スピードの加速化



貧困率の年次推移 (国民生活基礎調査より)



現代は、次世代に地球・豊かな生活を残していくための最後のチャンス！

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

2030年に向けた、持続可能な社会をつくるための17の目標

環境、経済、社会を三層構造で示した木の図



理念「誰一人取り残さない (取り残されない)」
No one will be left behind

- 「働きがい・経済成長」
「産業と技術革新の基盤づくり」
- 「貧困」や「飢餓」をなくす。
「健康・福祉」や「教育」を全てのの人に。
「ジェンダー平等」「持続可能なまちづくり」
- 「安全な水」「陸」「海」の保全。
「クリーンエネルギー」「気候変動対策」
「つくる責任、つかう責任」
- 「人や国の不平等をなくす」
「平和と公正」「パートナーシップ」

**持続可能な社会をつくるため、
全ての主体が取り組む目標！**

資料：環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト「持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究」より環境省作成

出典：平成29年度環境白書（環境省）

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

12 つくる責任
つかう責任



ターゲット12.3

2030年までに小売・消費レベルにおける**世界全体の一人当たりの食品の廃棄を半減**させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける**食品ロスを減少**させる。

世界で廃棄されている食品

年間約13億トン

全世界の食品の
約3分の1が廃棄

日本で廃棄されている食品

年間約2842万トン（2015年）
うち、**食品ロスは約646万トン**

国連世界食糧計画（WFP）の
途上国への食糧援助量
約320万トン（2015年）の倍

札幌の家庭で 廃棄されている食品

家庭ごみの中の食品ロス
年間約2万トン（2016年）

4人家族では
約40kg、約2万3000円分
もの食品をムダにしていることに

世界が抱える問題の多くは身近な生活とつながっている。→札幌市の取組も重要

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

次世代につなぐ環境首都・SAPP_ROビジョン（第2次札幌市環境基本計画）

第1次環境基本計画 1998～2017年度

札幌が目指す環境都市像

「環境文化都市」の実現

「循環型都市」 の実現

- ・地球温暖化防止
- ・森林機能の保全と育成
- ・酸性雨の防止
- ・オゾン層の保護
- ・エネルギー有効利用
- ・等の各種施策

「共生型都市」 の実現

「参加・協働型 都市」の実現

市域における環境問題への対応と、
地球温暖化など課題が顕在化して
きた**地球環境問題への対応が中心
の施策**を展開。

第2次環境基本計画 2018～2030年度

「環境首都・SAPP_RO」

豊かな環境の次世代への継承と札幌の魅力発信

豊かな暮らしの文化が根付くことによる
「環境首都」への誇りの醸成

国内外への魅力の発信による
札幌のブランド力の強化

生活

経済

社会

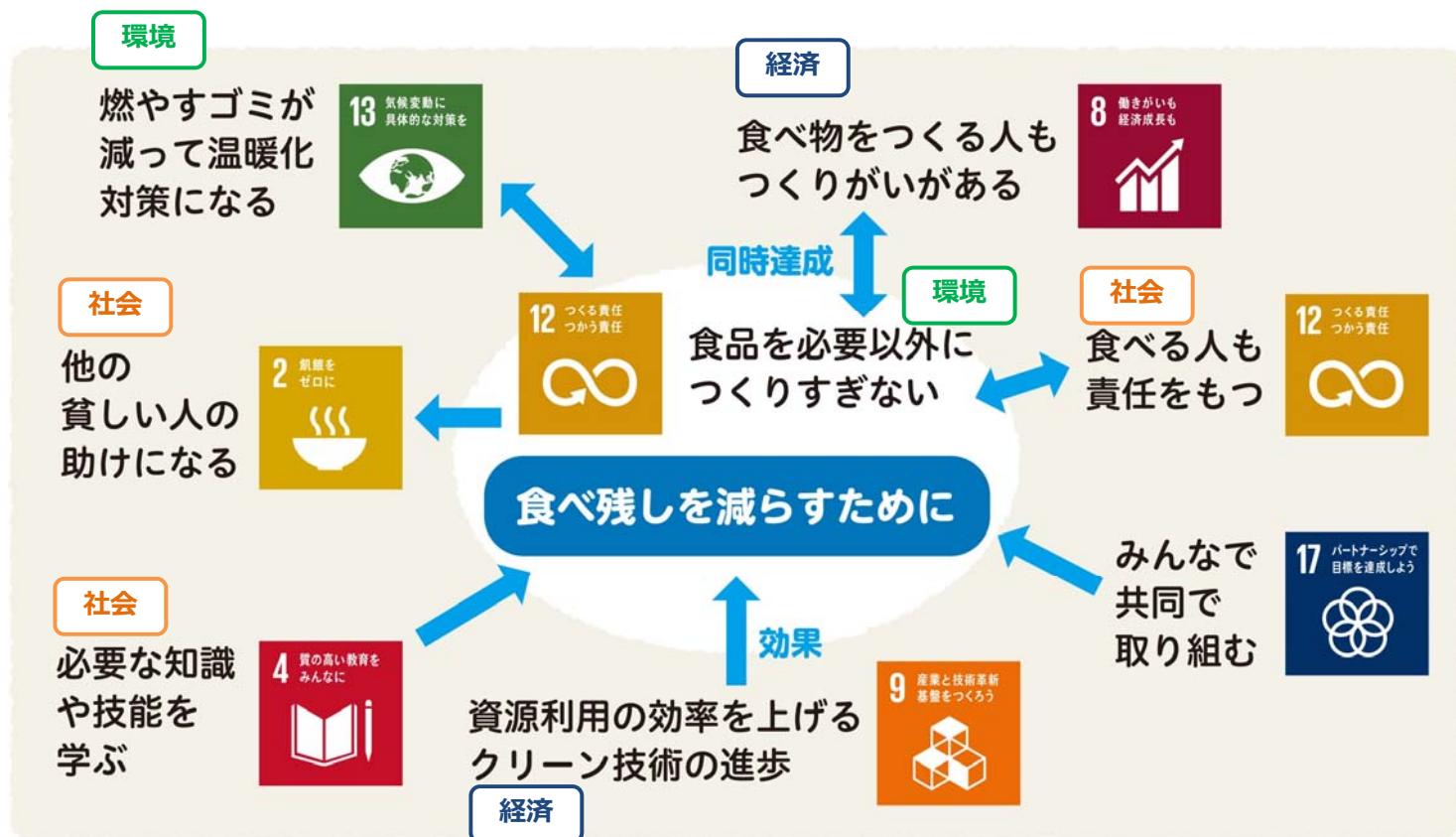
「経済・社会・生活」に対する波及の同時実現



SDGsの考え方を踏まえ、**環境施策の推進を経済や社会等の分野へも同時に波及**させ、「持続可能な都市」の実現に向けた施策を展開。

**これまで、諸問題に対し個別に対応してきた「環境対策」から、
環境・経済・社会に対する波及効果を同時に達成を目指すこととした**

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～



SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

「第2次札幌市環境基本計画」で目指す将来像と実現に向けた5つの柱

札幌が目指す将来像（2050年頃の姿）

次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市
「環境首都・SAPPORO」

第4章 将来像を実現するための5つの柱

各柱ごとに2030年の姿と施策の方向を設定

①健康で安全な環境の中で生活できる都市の実現

②積雪寒冷地に適した
低炭素社会
の実現

③資源を持続可能に活用する
循環型社会
の実現

④都市と自然が
調和した
自然共生社会
の実現

⑤環境施策の横断的・総合的な取組の推進

環境、経済、社会を三層構造で示した木の図



資料：環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト「持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究」より環境省作成
出典：平成29年度環境白書（環境省）

環境対策をSDGs達成につなげていくことを計画に位置づけた

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

5つの施策の柱ごとにSDGsを踏まえた管理指標を設定

(2) 将来像の実現に向けた2030年の姿（長期的な目標）と管理指標

市民・事業者が、地球温暖化の現状や省エネルギー・再生可能エネルギー促進の重要性を認識し、取組を実践している都市を目指します。具体的には、暖房エネルギーの削減や公共交通機関への利用促進といった家庭、業務、運輸部門での温暖化対策を積極的に進め、市内の温室効果ガス排出量の大幅な削減を目指します。

- ・札幌市内から排出される温室効果ガス排出量を1990年比で25%削減（2015年度は34%増加）
- ・札幌市内の電力消費量のうち、再生可能エネルギー消費量を30%に（2015年度は8.0%）

◆関連する SDGs

- ターゲット7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
- ターゲット7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
- ターゲット13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。
- ターゲット13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

第2次札幌市環境基本計画とSDGsとの関係

◆SDGs と5本の柱との関連

5本の柱	3 健康と福祉	4 質の高い教育をみんなに	6 安全な水とトイレを世界中に	7 再生可能エネルギー	8 働きがい、経済成長	9 産業・技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	12 消費責任を高めよう	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸域の豊かさを守ろう	17 パートナリシップを強化しよう
○健康で安全な環境の中で生活できる都市の実現												
①良好な大気、水、土壌その他の環境の確保	○		○				○	○		○	○	
②積雪寒冷な地域特性も踏まえた気候変動に対する適応対策			○	○		○	○		○			
○積雪寒冷地に適した低炭素社会の実現												
①徹底した省エネルギー対策の推進				○		○	○	○	○		○	
②再生可能エネルギーの導入拡大				○		○	○	○	○		○	
③水素エネルギーの活用				○		○	○	○	○			
○資源を持続可能に活用する循環型社会の実現												
①廃棄物のさらなる減量に向けた2Rの推進	○		○		○		○	○	○	○		
②資源を有効に活用するリサイクルや廃棄物の適正処理	○		○		○		○	○	○	○		
③災害廃棄物の対策や自治体間での連携						○	○	○				
○都市と自然が調和した自然共生社会の実現												
①生物多様性の保全	○		○			○	○	○	○	○	○	
②水やみどりの活用、ふれあいの促進	○		○				○				○	
③生物多様性にも配慮した良好な景観の形成			○				○		○		○	
○環境施策の横断的・総合的な取組の推進												
①幅広い世代への環境教育・学習の推進		○			○	○	○	○	○		○	○
②環境側面からの経済振興		○		○	○	○	○	○	○		○	○
③環境保全活動を通じたコミュニティの活性化の推進		○	○				○	○	○		○	○
④道内連携、様々な主体との連携の推進		○					○	○	○		○	○

計画で定める施策がSDGsのどのゴールに繋がるかを示し、その効果を明示

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

○高断熱・高気密な住宅に対し、国の省エネ基準を上回る基準を独自に設定し、認定を行っている
ほか、ベーシックレベル以上の住宅には補助制度も実施し、普及を図っている。
※その他、太陽光発電やエネファームなどにも補助制度を実施

新築住宅の等級	補助金額	外皮平均熱伝達率 (UA値)[W/㎡・K]	一次エネルギー消費量		相当隙間面積 (C値)[㎡/㎡]
			全体	暖房+換気	
トップランナー	200万円/件	0.18以下	等級5	35%以下	0.5以下
ハイレベル	150万円/件	0.22以下		45%以下	
スタンダードレベル	80万円/件	0.28以下		60%以下	1.0以下
ベーシックレベル	30万円/件	0.36以下		75%以下	
ミニマムレベル	無し	0.46以下	等級4	90%以下	1.0以下

→国の省エネ基準をミニマムレベルに設定

暖房エネルギー削減量

年間の灯油使用量（特定の条件での参考値）



市内で建築される新築戸建住宅に占める
ベーシックレベル以上の割合

→ **53.8%** (2016年度)

2012年度→2015年度

家庭部門のCO2排出量：**12.4%減**

※2012年度507万t-CO2→2015年度444万t-CO2

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

持続可能な消費形態の確保を通じた、北海道内の経済循環に向けた取組

SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」、12「つくる責任 つかう責任」などをテーマとし、北海道における資源やエネルギーの循環について「エシカル消費」や「フェアトレード」の視点から考えるワークショップを、下川町と連携して開催。

持続可能なわたしたちの消費を考える しもかわ暮らしのエコバスツアー

2017年 10月 27日 (金) 7:30-20:00
【会場】下川町まちおこしセンター「コモレビ」
【参加費】300円 (高校生以下は無料)

わたしたちが暮らす札幌は、国内や海外で生産されたたくさんの商品が集まる北海道最大の消費地です。その一方で、海外で作られた安くて便利な商品が大量に販売されることで、森林や森林などの北海道にある貴重な資源の活用や、海外の生産者への利益が十分に届いていない現状があります。消費行動のキーワードは「エシカル」(倫理的な)。「エシカル」は「良心」「思いやり」など日本人が昔から大切にしてきた考え方に近いものがあります。豊かな森林を持続可能な形で活用している下川町で、日々の生活を振り返り、自分や家族、身近な人々と、そして世界の人々や地球環境にまで思いを馳せてみましょう。わたしたちの暮らしが世界を愛する一歩になります。

スケジュール

- 07:30 札幌駅北口「緑の広場」集合
- 07:35 下川町へ向け出発 (観光バス、途中休憩あり)
- 11:00 下川町到着
- ・昼食 (手延べうどん・炭火焼き みなみ家)
- ・下川町内 視察 (視察先調整中)
- 13:00 講師との事前意見交換
- 13:30 講師とワークショップ
- 16:00 講師との意見交換
- 16:30 札幌へ向け出発 (観光バス、途中休憩あり)
- 20:00 札幌駅北口到着・解散

※詳細は別途チラシを配布します。
※参加費は500円 (税込) となります。
※当日は、講師の氏名が記載されたプログラムを配布します。

講師紹介

末吉 里花 氏
一般社団法人エシカル協会代表理事

松本 紹圭 氏
神谷町光明寺僧侶

【札幌からの参加者】
エシカル消費やフェアトレードに取り組む市民団体、札幌市消費者協会等と下川町を訪れ、実施。

◆参加申し込み方法
①申し込み(申込書、Eメール、電話)のいずれか1つを、申し込みの受付先へ送付してください。
②申し込みの受付先へ送付された後、申し込みの受付先へ申し込みの受付完了の連絡をいたします。
③(定員に達した時点で申し込みの受付を中止します。)

【Eメール】 kawashimokawamori@sapporo.jp
【FAX】 011-218-5108
【電話】 011-211-2877 (受付、郵送可)

主催・協賛：札幌市環境局環境都市推進課環境計画課(佐竹、佐竹)
協力：フェアトレードタウンさっぽろ振興会、NPO 北海道農産物振興会

【開催日時】2017年10月27日(金) 7:30-20:00

【場所】下川町まちおこしセンター「コモレビ」

【講師】

- ・一般社団法人エシカル協会代表理事 末吉 里花 氏
- ・神谷町光明寺僧侶 松本 紹圭 氏

【札幌からの参加者】

エシカル消費やフェアトレードに取り組む市民団体、札幌市消費者協会等と下川町を訪れ、実施。

11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



今後は、地域循環共生圏の創造に
資する取組に繋がっていきたい。

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

自治体によるSDGsの達成に向けた取組を公募し、優れた取組を提案する都市を「SDGs未来都市」として全国から選定するもので、内閣府が今年初めて実施する制度。

2018年6月15日、全国29都市が「SDGs未来都市」として選定され、札幌市もその1つに選ばれた。



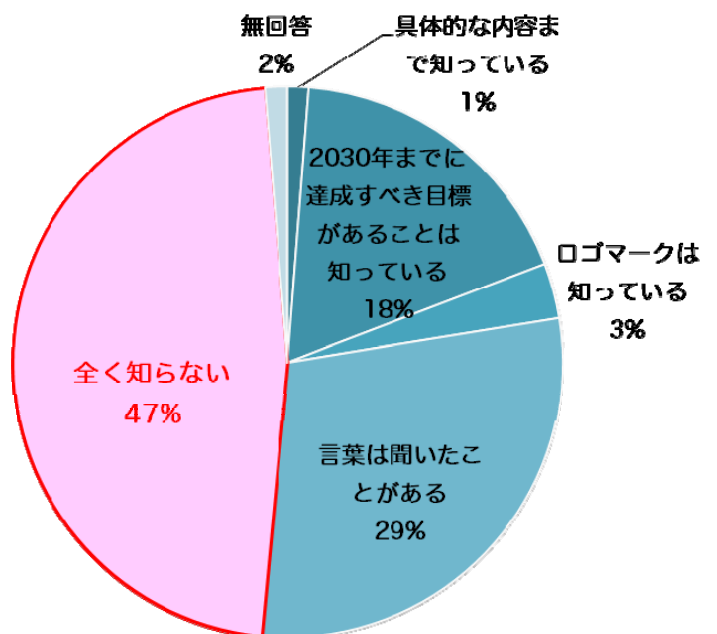
出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>) の白地図をもとに作成

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

札幌市民のSDGsの認知度

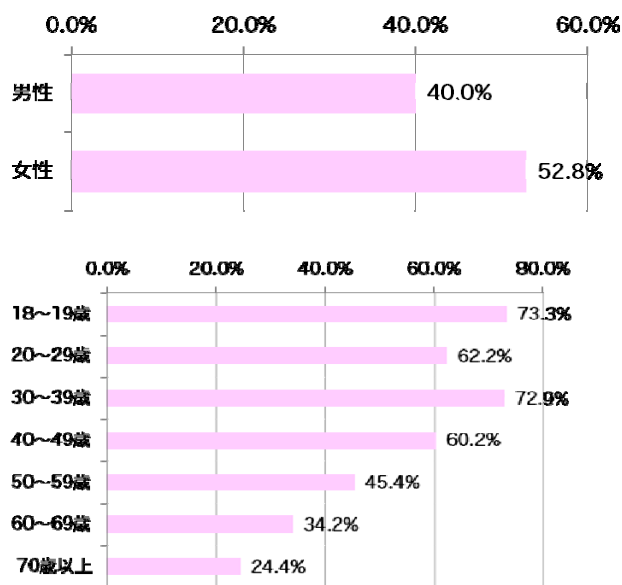
○SDGsの札幌市民認知度を確認するため、市民アンケートを実施（2018年1月22日～2月9日、郵送）。

全体回答結果



n=1,297
(うち、「全く知らない」は612)

「全く知らない」と答えた人の割合



女性よりも男性、また、年代の高い方がSDGsに関する認知度が高い傾向

省エネな賃貸住宅の選び方・住まい方マニュアル



エコドライブ普及パンフレット



札幌市出前講座 資料

パートナーシップによる普及



SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

SDGs実現型の都市・企業・教育・家庭訪問！ スウェーデン・持続可能な社会と暮らしを探究する8日間

「出会い」と「広がり」の旅

文字サイズ
大 中 小
検索

目的で探す
行き先から探す
カレンダーから探す
体験談
説明会・セミナー
資料請求
店舗・スタッフ案内

ボランテアツアー > ヨーロッパ > スウェーデン >
2017年「サステナブル国際ランキング」第1位 スウェーデン SDGs実現型の都市・企業・教育・家庭を訪問！ スウェーデン・持続可能な社会と暮らしを探究する8日間【成田発着/大阪・名古屋・仙台・札幌・福岡・沖縄・広島・長崎発の日本国内線はおたずねください】

2017年「サステナブル国際ランキング」第1位スウェーデン
SDGs実現型の都市・企業・教育・家庭を訪問！
スウェーデン・持続可能な社会と暮らしを探究する8日間
【成田発着/大阪・名古屋・仙台・札幌・福岡・沖縄・広島・長崎発の日本国内線はおたずねください】

268,000円 ～388,000円

旅行代金：大人お一人様/2名1室利用時/燃油サーチャージ(7,600円/相当)含む。
※表示代金の他に国内空港施設使用料及び国外空港諸税(3,800円/2017年9月現在)等が別途必要です。指定外航空会社を利用する場合、その航空会社規定の空港税、燃油サーチャージをご負担いただきます。
※日程表スケジュールは2017年8月現在のものです。

CO₂排出量(注) 1,400kg
100%オフセット 必要購入数 4口
540円からできる地球環境保全カーボンオフセット販売中

出発地を選択してください

成田国際空港

目的
選択してください

行き先
選択してください

日付 ※年月での検索も可能
--- 年 -- 月 -- 日

出発地
選択してください

検索結果を表示

いいね！ 0 ツイート

H.I.S.スタディツアーとは？
お米に繋がる旅によう
Study HIS

法人・団体の皆さまへ
—新しい旅のソリューション—
企業、NGO、学生団体など
教育機関向けのサービスも
ご相談くださいませ。

スマホ版TOPは
こちらから TOUCH!

よくある質問

初めての方へ

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

ご清聴ありがとうございました

質問・要望等は↓までご連絡ください。

札幌市環境局環境都市推進部環境計画課（北1条西2丁目）

TEL：011-211-2877

Mali：kan.suishin@city.sapporo.jp

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～